

令和 6 年度 中央区立月島幼稚園 外部評価報告書	
外部評価委員：片寄紀子、鈴木猛夫、中島忠秀、今井喜友美 報告書作成者：石井卓之	
評価時期	令和 7 年 3 月
1 重点目標の評価 重点目標 1「幼児の健康な体づくりを推進する」 ・評価指標の「体を動かし遊ぶことを楽しむ、栽培活動・食育活動に興味をもって関わる」に関して保護者、教員の肯定的評価は 100%であり、達成できていたと考えられる。教員の自己評価に栽培活動の時期を逸したとの反省があったが、縦割り活動の一環として前年度の学年が土づくりを行い、次の学年に送るなどの方法も検討できるかもしれない。 重点目標 2「環境に関わり表現する楽しさを味わい、豊かな心を育成する」 ・2つの評価指標に関して保護者、教員の肯定的評価は 98%以上であり、達成できたと考えられる。都会にある園だからこそ、自然物との関わりが幼児には重要であり、環境設定や活動の工夫の成果である。 ・日常の保育において、園児の活動を見守りながら直ぐに介入するのではなく失敗を経験させる中で成長させる指導を行っていることは高く評価できる。 ・栽培した野菜の生長から学び食育に活用する活動や創意工夫した工作活動を保護者が評価している。また、弁当給食を学びの場として活用している取り組みもよい。 重点目標 3「家庭・地域と連携した『幼稚園好き』の共有」 ・3つの評価指標に関して保護者、教員の肯定的評価は 98%以上であり、達成できたと考えられる。 ・評価指標 1の「日本や様々な国・地域の文化への興味・関心をもつことができたか」の保護者評価の「十分達成している」が 68%と調査項目の中では低かった。自国の伝統文化への取り組みと様々な国・地域の文化への取り組み、どちらに課題があったのかを明確にすることで、次年度の方向性が明確となる。 2 今後の改善に向けた意見 ・教員の人数が 4 名と少ないために、教員評価の割合からだけで判断することは統計学上課題があるが、「行事」と「学校間の連携」に関してはやや低い結果となっている。次年度計画についての検討を通して改善を図ってほしい。 ・「ルクミー」などデジタルを活用した情報発信は必要であるが、対面などのリアルが有効である場合もある。デジタルの有効性や作業の手間を勘案しながら、ハイブリッドで検討を進めてほしい。 ・PTA活動の検討について、保護者の意見が少数あった。保護者数の減少を踏まえ、必要な業務と休止・廃止した方がよい業務を再検討しながらも、保護者が直接コミュニケーションをもてる必要な機会であることを大切にして、検討を進めてほしい。 ・保護者評価については、簡易版を年度途中に実施して教育活動の改善を図り、その成果を年度末の評価で確認することもできると考える。 3 その他の意見 ・今後の方策について、3 点を掲げている。園庭開放や未就園児の遊び場開放などは必要な内容ではあるが、全てを園だけで継続実施すると負担が大きくなり、日常の教育活動に影響があると考え。区の制度としての支援に期待したい。	